

大野見地区より



ワクワクが止まらない 手動有人販売機!

有限会社みどりや
しもとしんや
下元 慎也さん

中土佐町大野見で「みどりや」を運営されている下元さん。「みどりや」といえば、お弁当やからあげ・とり天の移動販売、下元さん手作りの看板が人気のお店です! その下元さんが楽しくて面白いものを作ってみようと、手動有人販売機「はすかしがり屋」を作成しました。中は驚きの仕掛けがたくさん詰まっています。中にはジュースやお菓子、ぬいぐるみなどを購入することができます。細部にまでこだわった遊び心あふれる有人販売機です!

さまざまなイベントに参加しているので、出会えた方はとってもラッキーです!

8月号でもみどりやさんのお弁当について取材させていただきましたので、来月の「コチットのイチオシ!」のページをぜひお楽しみに!

津野山地区より



アサガオは「由布子」の愛称で親しまれています。

アサガオの花が咲いたら

健(検)診へ
くまだ けいこ
熊田 敬子さん

津野町で土佐甘とう栽培をしている熊田敬子さんは、農業の傍ら「ピンクの花が咲いたら健診へ」と、健康啓発の取り組みで毎年アサガオの花を咲かせています。

この運動を最初に始めたのは須崎市の矢野悦子さん。平成14年の高知国体の際に民泊で受け入れたことから交流のあった北島政樹さんの妻・由布子さんが31歳の若さで乳がんによりお亡くなりになりました。その後、北島さんのお母様から珍しいアサガオの種を譲り受けた矢野さんは、ピンクリボン運動を重ね、希望者に種を配布して「ピンクのアサガオを咲かせる、乳がん検診啓発運動」を行っています。

この運動に賛同した熊田さんは、高知県健康づくり婦人会連合会の会長をされていたことから、津野町や県下の健康づくり婦人会やいぶき会、高知県総合保健協会などへ呼びかけ、種の配布をし花を咲かせています。「アサガオの花が咲いたら、自分と家族のため健診を受けてほしい」と活動されています。

高西 地区から こんにちは

四万十地区より



農業とスノーボードの 二刀流です!

たけいち たかひろ
武市 貴裕さん(33)

四万十町大井野でピーマン9アール、水稲187アール、サツマイモ5.6アールを栽培している武市さん。消防士として働いていましたが、生涯スノーボードを続けるために実家の農業を引き継ぎました。

農作業では、1人にかかる負担を減らすことで身体的疲労の軽減や、その人が最も得意な作業をしてもらうことでの仕事の効率化など、それぞれ自分に合った仕事の進め方、個性を最大限引き出せるように心がけています。

農閑期の冬場は、愛媛県でスノーボード選手兼指導者として活動し、農業とスノーボード両方の楽しさをたくさんの方に伝えていくことが目標だと話されていました。



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



これからも活動を続けていきたいです。

1 四万十地域

四万十生姜研究会 コンテナショウガの 出前授業で大阪へ

5月14日、四万十生姜研究会は消費地での食育活動として、大阪の小学校でコンテナショウガの出前授業を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大もあり、平成29年に初めて開催して以降、今回が2回目の開催となりました。45分間という短い時間でしたが、2年生97人へショウガについて説明を行い、10個のコンテナへ植え付けを行いました。ショウガはもちろろん、土に触れることもほとんどなかった子どもたちは、土の手触りや種ショウガの香りなどに驚きながら積極的に植え付けに取り組みでくれました。あっという間に授業は終了しましたが、東果大阪(株)からは、各家庭で食べてもらうように児童1人あたり1つショウガをプレゼントしました。

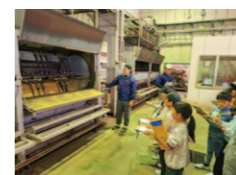
研究会員はこの取り組みを毎年続けていき、ショウガの消費拡大に努めていきたいと意気込んでいます。大阪に限らず、さまざまな地域でコンテナショウガの出前授業が行えるように取り組んでいきます。



楽しい体験作業となりました！

2 津野山地域

地域の特産品を知ってもらう 小学生に出前授業



5月8日、高西営農経済センター津野山経済課は津野町立中央小学校3年生8人を対象に、お茶作りのための、茶摘みと茶揉みの作業体験の出前授業を行いました。この授業は地域の特産物に興味を持ち、それに携わる人々の苦労や想いを知ること、を目的に毎年開催しています。

授業では高橋寿宏指導員が布施ヶ坂の道の駅の上にある茶畑で茶摘みの説明をしてから、子どもたちは和気あいあいと収穫を行いました。その後、農協の茶工場を見学し、茶揉み作業の体験も行いました。

大きなお茶の機械を見たり、蒸した茶葉の手もみを初めて体験した児童たちは「お茶の作り方やお茶にもたくさん種類があることが知れて良かったです！」と話しました。

高橋指導員は「この授業を通して農業に少しでも興味を持っていただき、津野山地域の特産品を知ってもらえる良い機会ができました」と話しました。

3 四万十地域 農業に親しんでもらう 親子で田植え体験



楽しい田植え体験でした！

5月25日、株式会社フジと高西営農経済センターは、今年で9回目となる「親子で体験田植え&稲刈り」イベントを開催しました。

県内から8家族24人が参加し、田植え体験を行いました。参加者はエコ栽培米生産部会の下元誠一郎さんの一斗俵にあるほ場に同部会員さん数人の指導のもと、苗を目印に沿って丁寧に植え付けました。田んぼに入ることが初めての子どももおり、子どもたちは泥だらけになりながら田んぼの感触を楽しんでいました。

田植えの後、下元さんから一斗俵の水路建設にまつわる昔話が紙芝居にて披露され、参加者はその話に聞き入り、感心する声もあって大変有意義な行事となりました。次回は秋の稲刈り体験を予定しています。

4 津野山地域 津野山地域 営農連絡協議会全体会を開催



計画や課題等を協議しました。

5月20日、令和6年度津野山地域営農連絡協議会全体会が開催されました。本会は梶原町・津野町・須崎農業振興センター・西部家畜保健衛生所・J.A・両町の地域支援員(オプザーバー)の関係機関25人で構成されます。

会では、本年度に係る営農体制の設置と各品目の具体的な目標に向けての取り組み、計画や課題等が協議され、津野山地域PT(プロジェクトチーム)行動計画が策定されました。

5 四万十地域 女性部大野見支部 ミニミニ料理教室



3品を紹介しました！

四万十地区女性部大野見支部は6月5日、直販所「みどり市」でミニミニ料理教室を開きました。今回は吉岡千加子さんと棟長香代子さんが「家の光5・6月号」からピーマンの卵炒め、タケノコのきんぴら、切り干し大根のゴマポン酢漬けを振る舞いました。

調理時間が短く、材料も多く使わず簡単に作れる料理なので、来店者にも好評でした。ミニミニ料理教室は月に1度各支部がお料理の紹介をしています。見かけた際にはぜひお立ち寄りください！

6 津野山地域 津野山ユズ部会 誘引講習会



生産者のみなさんが真剣に講習を受けています。

津野山ユズ部会では、5月29日、管内2会場において誘引講習会を開催。約20人の生産者が参加しました。高知県農業イノベーション推進課の矢野専技さんに講師を務めていただきました。ユズの木の特徴を確認するなど、管理しやすい樹形となるよう実際に誘引作業をしながら説明が行われると、参加者は熱心に誘引方法を確認していました。また当日はカミキリムシ対策として「バイオリサ」の設置講習も併せて行いました。

農家の皆様へ 令和7年度農業用ハウス防災対策事業 予算要望調査について

四万十町では災害に強い産地を形成するため、台風等の自然災害に備えた既存ハウスの補強費用に対して支援をしています。本事業は国の5か年対策に位置付けられた事業であり令和7年が最終年となっておりますので申請を希望される農業者の方はお近くのJAまでご連絡をお願いいたします。

主な補助対象・要件・補助率 ※要綱改正に伴い変更となる可能性があります

補助対象事例	本事業でできないこと	補助要件	補助率	お問い合わせ先
①支柱、方丈、補強合掌、筋交、ペット資材、谷樋等の追加 ②ハウスのフルオープン化 ③減圧のための換気扇設置、防風ネットの導入。 ※既に導入されている資材の更新導入は補助対象外	×ハウスの再建、新設、増築を行う場合の耐候性の強化 ×フィルムの張り替えやパイプの交換	①災害時の事業継続計画を策定すること ②収入保険への積極的な加入に努めること ③補助対象施設に園芸施設共済等の保険をかけること ④対象施設は、今後10年以上の利用が見込まれる既存ハウスであること	1/2以内 (施工費も補助対象)	お近くのJA

相談期日 令和6年8月2日(金)まで ※申込みはお近くのJAまで

お問い合わせ先

四万十町農林水産課 担当：武田 (TEL 0880-22-3113)
JA高知県 高西営農経済センター 営農指導課 (TEL 0880-22-5179)

『新規就農相談会』を開催します！！ ～農業をはじめませんか～

高南地域営農連絡協議会では、新たに就農をお考えの方を対象に相談会を開催します。就農前に農業について学ぶことのできる研修事業や、経営開始後に受けられる支援制度について、個別に相談しませんか。JA・普及所など関係機関が同席のうえ相談対応を行います。

日時 令和6年8月9日(金) 13:30～(予約制)

場所 JA高知県 四万十支所 2階 中ホール (四万十町榊山町586番地2)

※参加をご希望の方は、8月2日(金)までに下記まで事前のお申込みをお願いします。
※上記日程のほか、農林水産課窓口でも随時相談を受け付けています。就農に関する疑問やご相談など、まずはお気軽にお問い合わせください。

【お申込み・お問い合わせ】
四万十町役場 農林水産課 竹本 (TEL 0880-22-3113)



四万十地区より

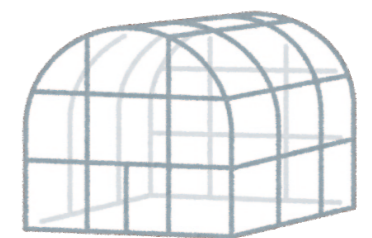
令和7年度園芸用ハウス整備事業費 補助金予算要望調査のご案内

四万十町では、施設園芸農業の一層の振興を図るため、園芸用ハウスの整備等に要する経費に対して支援をしています。つきましては、要望額を把握したいので申請を希望される農業者の方は下記のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

主な事業内容・補助率 ※県の要綱改正に伴い変更となる可能性があります

事業区分	補助対象内容	補助対象限度額 (10aあたり)		補助率	実施主体	お問い合わせ先
		一般ハウス	軒高・高強度ハウス			
新規就農区分	新規就農又は法人化を行う場合	800万円	1,100万円	30分の17	農業協同組合	お近くのJA
高度化区分	規模拡大又は既存ハウスの高度化を行う場合			24分の11		
流動化区分 (通常)	他人が所有していたハウスを修繕し経営する場合	550万円		2分の1	個人	市町村
流動化区分 (新規就農区分該当者)	新規就農区分に該当しており、他人が所有していたハウスを修繕し経営する場合			30分の17		

- 主な要件**
- ①野菜、果樹、花卉の栽培を目的とする施設であること
※育苗・機械室等は補助対象外
 - ②施設の耐用年数以上の利用権設定がされる農用地であること
 - ③園芸施設共済等の保険に加入すること
 - ④ハウス内の環境を測定・制御する機器を導入すること
※雨よけ施設の場合はハウス内環境を制御する機器の導入
 - ⑤高知県版GAPに取組むこと



相談期日 令和6年8月2日(金)まで

お問い合わせ先

四万十町農林水産課 担当：武田 (TEL 0880-22-3113)
JA高知県 高西営農経済センター 営農指導課 (TEL 0880-22-5179)

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

俳句

霧の里句会

夜半の地震な田蛙あまのこゑ潜めたり
田水張り連起つなこる喪の報せ

市川 和美

螢飛びあ峡の小川も華やかに
どくだみに埋めつくされし狭庭かな

田中 信子

雨ながら声競い合ふホーホケキヨ
幾人の面影浮ぶ昭和の日

今橋 孝子

梅檀せんだんの花仰ぎつつ幡多路かな
野にそよぐ風に鬼百合残し刈る

長谷部 延子

春の日をひと日楽しむデイサービス
道端の荒せし畑に矢車草

竹内 春猪

短歌

窪川短歌教室

代々の山をチェンソーにて間伐すちははの植えしヒノキ育て

宮崎 英雄

そのかみの小学六年の家庭科で作りし甘酒の旨忘れず

島岡 紀美

マスクとり笑顔で歌うシニア嬢われらのコーラスいざ幕上がる

竹田 和子

地震です！ジェイアラートが鳴り響く何もできずにうろろうドキドキ

中内 佐登美

毛虫にもゆきたきところあるらしき草萌ゆる道もこもこ急ぐ

市川 隆子

マラリアの病後にて復員せし父は亡霊のごと門に立ちいき

市川 浩子

はつなつは窓開け放ち思ふままドライブするを止めといふなよ

黒岩 やよゑ

「これどうぞ」小さな鉢のカーネーション シャイな夫から母の日の朝

北村 さち子

わたくしの言葉中枢弱々しとつさの時の言葉につまる

文野 見枝子

俳句

桜散り思い浮ぶ桜桃

(橋原町・松山 松美)

ばんりよく
万緑にドローン操る男かな

(四万十町・小原 慶子)

◆◆おたよりから◆◆

母の日フラワーアレンジメント

5月12日、ルミエール四万十にて「母の日フラワーアレンジメント」を初めて開催しました。10人の方にご参加いただき、利岡生花店のスタッフの皆さまに講師として指導をいただきました。カーネーションをバランスよく使いながら、皆さん楽しくアレンジメントをされていました。ルミエール四万十では今後も皆さまに楽しんでいただけるようなイベントを計画していきます。



JAメモリアルこうち四万十営業所 (JA葬祭ルミエール四万十)
四万十町榊山町9-7 TEL: 0880-22-5900